

JCI 四国支部

コンクリートの強度に及ぼす養生条件に関する研究委員会 第4回 議事録

1. 日時：2012年10月16日（火）17：30～19：00
2. 会場：住友大阪セメント(株)四国支店会議室
3. 出席者：水越（委員長、香川高専）、古田（香川県生コン工組）、吉川（BASF ポゾリス）、喜多（住友大阪セメント）、井上（中讃協業生コン） 東山（アサノ五色台工業）、石井（オプザーバー、四国総研）、川人（香川トクヤマ）の各委員（計8名）
4. 配付資料
 - ・ 第3回委員会議事録
 - ・ 資料4-1：夏期試験配合およびフレッシュコンクリートの試験結果
 - ・ 資料4-2：フライアッシュ（FA）混和コンクリートの配合表
5. 議題および議事概要
 - 5-1 第3回委員会議事録の確認
 - ・ 前回議事録の確認が行われ、承認された。
 - 5-2 実験計画の詳細検討
 - (1) 夏期配合試験結果の確認
 - ・ 材齢56日までの強度試験結果について検討した結果、特異と判断されるデータは認められず、脱枠時期が3日の場合、1日、2日に比べて標準養生28日強度が若干低くなる傾向にあること、35℃封緘養生では材齢28日から56日までの強度増進はほとんど期待できないことなどがわかった。
 - (2) FA試験練り配合の検討
 - ・ 24-8-20BB 石灰石以外（香川トクヤマ）の配合と同じ $W=160\text{kg/m}^3$ で一定とする。
 - ・ FA内割配合では、FAを粉体扱いとして水粉体比（W/B）をベース配合のW/Cと同じ54.5とする。
 - ・ FA外割配では、FAを粉体として扱わず、s/aはベース配合と同じとする。
 - ・ AE剤添加量は、香川トクヤマおよび四国電力の実績より決定し、10/19（金）13時30分から香川トクヤマにて実機試験練りを行い、確認することとした。なお、フレッシュコンクリート試験は練上り直後と30分後で実施する。
 - (3) 細孔径分布測定について
 - ・ 28日養生日である11/27に対象供試体を工組にてカットし、高専に細孔径分布測定用の資料に調整した後、12/3（月）に四国総研に持込み水和を停止させる。

(4) 標準期試験の出荷順序, 時間の決定

・10/30 (火) 標準期試験のスケジュール

- 8:30 集合
- 9:00 30-18-20N-石灰石配合 (アサノ五色台工業香西工場)
- 9:45 30-18-20N-海砂・砕石配合 (香川トクヤマ)
- 10:30 24-8-20BB-石灰石配合 (アサノ五色台工業香西工場)
- 11:15 24-8-20BB-海砂・砕石配合 (香川トクヤマ)
- 13:00 24-8-20BB (FA 内割) -海砂・砕石配合 (香川トクヤマ)
- 13:45 24-8-20BB (FA 外割) -海砂・砕石配合 (香川トクヤマ)

(5) 冬期試験日および次回委員会の開催予定

- ・冬期の試験を H25 年 1/21 の週、あるいは 1/28 の週に実施することとした。
- ・第 5 回委員会は H25 年 1 月 18(金)、16 時～、BASF ジャパン会議室にて開催する予定。

以上
(文責) 水越